

穏やかなお正月、良き年を願い 厳粛に元旦祭 執行

教信徒一堂に会して、晴れやかに、賑々しく。



目度さ若松も供えられ、祭主祝詞奏上。

皇紀二六八〇年、令和二年、庚子の歳の元旦。晴天に恵まれ、穏やかなお正月を迎え、新春を寿ぎ、元旦祭が厳粛且つ盛大に執り行われました。遠方各地、畿内、大阪府

下、市内近郊の方々、それぞれの新年のお祝いも早々に相済まされ、心晴れやかに初詣。雅楽の調べの中を、祭主本部長様を始め祭員の参進。国歌斉唱、修祓に続き、祭主祝詞奏上。大神様、御教祖様、御祖先様の日々のご神恩に感謝申し上げ、新しき歳の更なる神威高揚、教勢拡充、国家安泰、世界平和、教信徒各家の自家成立繁栄をご祈願下さいました。ご神前には、円かなる御鏡餅に、種々の御饌物が供えられ、正月の若松も差し



雅やかに「浦安の舞」奉納

飾られました。奉納御神楽は、新年の安寧を祈願し、「浦安の舞」。舞人は、柴垣敬美さん、柴垣裕美さん、木本晴子さん

森彰子さんの四人。優雅に、華麗に舞い納められました。教父様、祭主本部長様の玉串奉奠に続き、参拝者一人ひとり昇殿し、ご神前真近くで、祈りを込めた玉串を持ち捧げられました。元日祭参行にあたり、総話の言葉を教信徒の皆様、代役始め各役員の皆様、宝寿会、有志の皆様には、年々末より、数日間の心尽くしのご奉仕、誠に有り難く、心より感謝申し上げます。本年も教信徒皆様、大神様、御教祖様、御祖先様のご守護のもと、恙なく、心豊かな歳となります様、心より祈念致して居ります。

皆様こんばんは。年が明けまして早十五日が経ちました。新年の諸行事が続く中、重ねてのご参拝、今年も一年、大神様、

ご祖先様のご守護のもと、共に健やかに日々を過ごして参りたい所です。そして、日々熱心にご参拝、ご奉仕頂く教信徒の皆様、更に心豊かな生活を

ご教話 心豊かな生活は教会詣でから — スピーチの極意 —

祭 並 月 (1月15日)



発行所 本 部 大 阪 教 生 寶 法 人
大阪府西淀川区北堀江3丁目10番
電話 06(6531)6722
FAX 06(6531)6152
© (非 売 品)

2 月 号

自家成立の
根源は和にあり
秩序の根源は
神祖崇敬より

康寿命を延ばすための講演会を催しました。今年からは、これからの社会を担う若い世代の方々のための催しを継続的に行いたいと思っております。例えば、多くの方が苦手意識を持たれる人前でお話をすること。人前で話をするには、経験がものを言いますが、

実は少しの心得を知っていれば、そんなに難しいことではないのです。「本日は、お日柄もよく」という小説をご存知でしょうか？ 原田マハさんという方が書かれた小説です。その内容は、スピーチライターと呼ばれる職業にスポットライトを当てた作品です。

スピーチライターとは、演説やスピーチをする本人の為にその原稿を考えたりその内容や話し方から身のことなし方までを助言する職業で、例えば、総理大臣の演説の原稿作成にも専門の

スピーチライターが関わっていること云々、報告をする機会を割と、どなたにでもあるかと存じます。その時にも少しの言葉を付け加えるだけでより効果的に相手に物事が伝わるのです。

例えば、「報告が一点あります。」「質問が一点あります。」と云ってからの内容を述べることで、相手が「なるほど、この人は一点の話をしたいのだ。」と理解して全ての話を聞く体制になるそうです。この様なちょっとしたお話を教信徒の皆様、人生の先輩方から学ぶ多くの事柄を身に付けられ、教信徒の皆様が更に心豊かな人生を送られます様祈願しております。

祝祭日には必ず国旗を掲揚しましょう

寶生教 国旗掲揚運動

春之祖先霊大祭

ご慰霊 申込み受付
新合祀 (祭典後に信徒総会を開催)

各家ご祖先の大切な春の霊大祭、感謝を込めて、家族揃ってご参拝になり、誠心のご慰霊を致します。尚、今年の信徒総会も、昨年同様、春之祖先霊大祭祭典後に開きます。開祭時刻は午後一時半です。お帰りのご予定等、お間違いのないよう、ご注意をお願いいたします。

春之祖先霊大祭 並びに信徒総会
三月二十日(春分の日)
午後一時半 開式
祭典に引続き
信徒総会を開催
※ご慰霊、新しい霊の合祀
願いの申込みは、三月十五日までに教会事務所へなさってください。

ボウリングもご奉仕も楽しく 青年部 初顔合わせ

一月十二日(日)、お蔭様で晴れやかな好天のもと、新春恒例の大阪本部青年部総会、「初顔合わせ」が開催されました。午前九時、青年部実行委員をはじめ、参加者一同が教会へ集合し、朝拝後、千日前のボウリング場へ移動。ご参加下さいました、小権現職様の始球式により、ボウリング大会がスタートしました。この度は、森行正さんが三歳のお孫さん方を連れてご参加下さり、幼いながら

各家ご祖先の大切な春の霊大祭、感謝を込めて、家族揃ってご参拝になり、誠心のご慰霊を致します。尚、今年の信徒総会も、昨年同様、春之祖先霊大祭祭典後に開きます。開祭時刻は午後一時半です。お帰りのご予定等、お間違いのないよう、ご注意をお願いいたします。

優勝はなんと、この日の御饌米下ろしのご奉仕。



教父様、教父様に総代理様もご臨席いただいた青年部総会。その後、こちらも毎年恒例の御饌米下ろしのご奉仕です。皆さん協力し合い、テキパキとこなし、藁をつけながらも楽しくご奉仕させて頂きました。大人も子供も実行委員も

為に一年間たくさん練習されたのでしようか、前回はブービー賞でありました羽田延弘さんでした。拍手の中、結果発表は終了しました。

楽しみながら、有意義で充実した初顔合わせとなりました。本年も、大阪本部青年部 宜しくお祈り致します。

教会行事

二月 一日(土)	月 並 祭	午後七時
二日(日)	御本宮月並祭	午前十一時半
三日(月)	御本宮遙拝式	午前九時
八日(土)	節分厄除祈願祭	午後七時
九日(日)	修 行 日	午前十一時、午後七時
十一日(祝)	教 祖 祭	午前十時
十五日(土)	建国記念祭	午前十時半
十六日(日)	米子地区敬和会	午後七時
二二日(土)	西播教会修行日	
二四日(月)	養老教会修行日	
二五日(火)	修 行 日	午前十一時、午後七時
三月 一日(日)	月 並 祭	午前十一時
七日(土)	愛教婦人会総会	午前十一時半
八日(日)	御本宮月並祭	午前十一時半
九日(月)	御本宮遙拝式	午前九時
	修 行 日	午前十一時
	教 祖 祭	午後七時



「神道入門」山本晃道 著 | 定価1000円

教えの書籍が発刊されました

事務所に頒布しています



大祓式「花湯」が奉納
神楽「花湯」が奉納

本日は大祓式、ようこそご参拝下さいました。まずはじめに、先日の冬至祭での御神宣についてお話し致します。経済にしましては、国内が四月、七月、十二月にご注意が出ております。景気は決して良くはならないようですので、気を引き締めお過ごし下さい。思想面にしましては、国内外共に大きく変わらないうことです。続いて疫病ですが、国内で一月と十月、外国は二月と十月にご注意が出ております。動乱については、国内ではご注意が有りますが、外国で二月と九月にご注意が出ております。

ご教話 穢れは気枯れ 大祓式で「常若」

大祓式
(12月30日)

世界に目を向けますと、香港の情勢が中々落ち着きませんし、一月末にはイギリスがEU離脱を表明しているという事で、世界情勢は割と騒がしい様です。国内の政治にしましては、安定はしているとはいえず、本来神様の意に沿う憲法改正にはほど遠い状態が続く様でございます。扱、只今は共々に大祓式をご奉仕致しました。祓戸四柱之大神を御招霊申し上げ、気を込めて大祓詞を奏上致し、この歳の罪、穢れを、真に大海原に押し放つ如くに、祓い浄めて頂きました。その「穢れ」であります。が、よく云われているのは、気が枯れてしまっている状態が「気枯れ」であるという事。例えば、日々の生活の中で、リズムや巡りが良く、何をしても上手くいくときもあれば、反対に何をしても上手くいかないときもあるのかと存じます。この上手くいかないときが「穢れ(気枯れ)」の状態なのだそう。



大祓式茅の輪をくぐり、清々しく帰路につきます。

では何故、何をしても上手くいかないときがあるのか。それは、リズムが崩れるからなのです。ではどうしてリズムが崩れるのか。例えば、怒りや恐れ、悲しみや憂鬱といった、マイナスの気持ちになったときにリズムが崩れるのだそうです。現代社会はストレス社会とも云われておりまして、誰しもが少しずつでもマイナスを感じる事がある世の中です。そう云ったものが積みも積もって穢れとなるのでしよう。人間は自然の中に生かされておりますので、仕方ない事の中にはあるかも知れませんが、出来得る限り、心は何時も穏やかな状態を

整体治療の先生をお招きし 大阪近郊各地区合同敬和会

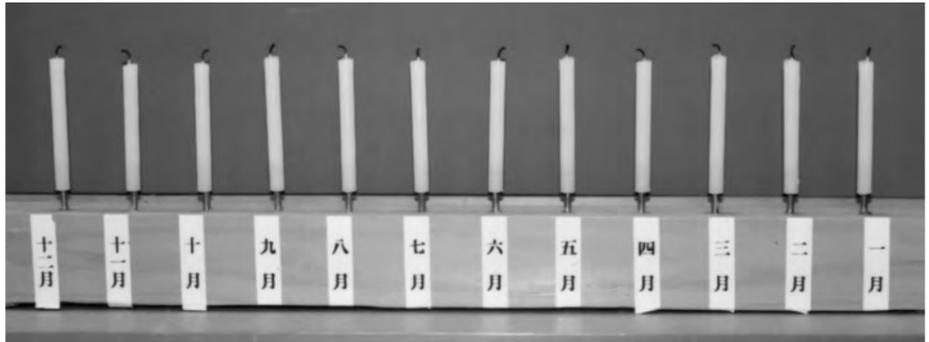


スクリーンも準備され、健康講座を開きました。

去る令和元年十一月二十七日(水)に大阪近郊各地区合同敬和会が、午後七時から寶生教大阪本部で、教父様・教会長様を始め現家様の皆様や教職員の皆様のご参列をいただき、ご参集の信徒の皆様とともに、総勢約四十名で盛大に開催させていただきました。ご本殿で参拝をさせていただき、引き続き、ここ堀江で整体治療を開展されているバランス治療院・

令和2年 庚子之年 月並運勢ご神宣とお蠟燭

項目	政治		経済		社会問題		思想	疫病		天 災					動乱					
	国内	外国	国内	外国	国内	外国	国内	国内	外国	九州	中国	近畿	北陸	中部	関東	東北	北海道	国内	外国	
1								○												
2		○		○					○				○	○			○	○		○
3																				
4	○		○																	
5					○															
6										○	○									
7	○		○	○																
8										○	○	○	○	○	○					
9																	○			○
10	○								○	○										
11		○																		
12																				



本日は冬至祭、お水取り 又足下の悪い中を、遠方各地、六時二十分という早地、大阪近郊よりようこそ開式にも関わりませず、ご参拝下さいました。お蠟燭は、二月、七月、十月、十一月が少し短うございます。二月は世界情勢、殊に一月にイギリスがEUからの離脱を表明しておりますので、そう云った所から世界経済に影響が出るかも知れません。

ご教話 令和二年、景気は良くならず 御神宣、ご注意を前向きに 冬至祭 (12月22日)

夏頃には、特に中部地方において大型の台風上陸にご注意頂き、各ご家庭用心なさって下さい。十月、十一月は政治的な面でご注意頂いております。国会では、是非とも憲法改正が良い方向に進めば良いのですが、年中には難しい様でございます。経済にしましては、今年とほぼ横ばい。業種によっては下降気味かも知れませんが、ご守護頂く皆様は案ずる事はありません。ですが備える事は大切です。何時も申し上げます様に、何も申さずして良いのではなく、少しづつでも上を向く努力をそれぞれがなさったときに、大神様がそれ以上、大きなお力を授けて下さいます。各家の月並運勢も同様です。ご神示頂くご注意は、全てが全て悪いご注意ではありません。例えば会社でお申し込みでしたら、商売繁盛に繋がるチャンス、又は大切な御縁、巡り合わせがありますよというご注意の場合もあります。ですから、決して悲観なさらず、ご神示頂けるといふ事は、それだけご守護頂いている証でございます。その為にも日々熱心にお参りをし、お仕えする。そして教会にも足繁く参拝し、大神様に好かれる信仰をなさって下さい。自分たちから大神様、御教祖様、御祖先様に近づくという努力をして頂きますと、より大きなご神徳が頂けるものがございます。

年末恒例 愛教婦人会 「お正月飾りを作る会」開催される

令和元年十一月二十七日、愛教婦人会恒例お正月飾りを作る会が開催されました。今年は、豪華な稲穂・水引を使い、若松・ベローリ等の材料で、ステキなお正月飾りを作りました。参加申込二十四名、毎年お飾りを作っているからか、皆さん手際よく、作品を作り上げられました。若松に稲穂、水引も豪華な飾りができました。



若松に稲穂、水引も豪華な飾りができました。



手際よく、みなさん真剣です。

関に掲げられ、清々しい新年をお迎えになられたことと存じます。会員の皆様におかれましては、是非次の機会にもご参加頂き、楽しい時間を共に、お過ごし頂きたく存じます。愛教婦人会 会長 山本多恵子

保つ努力もまた必要なことなのです。しかし、そう云ったマイナスの気持ちも、本日の大祓式をご奉仕致し、新年を迎えるに当たり、それぞれの魂が新たに生まれ変わったというわけでございます。康な体の関係の興味深く、わかりやすいと話を、簡単にできる実践方法を教えていただき、皆で早速試してみました。その後、二階の間・二の間に場所を移し、羽田地区世話人から本日用意していただいた、神戸風月堂のお菓子の説明をしてもらいたが、おいしくお茶をいただきました。最後に教主様の御教話を聞きとりました。南大阪地区世話人 木本吉彦

我々人間も同様で、知らず識らずに犯した罪、穢れを、神様に祓い清めて頂く事で、新たな命に神の息吹を吹き込んで頂き、新年を清々しく迎えるというのが、大祓式の本意でございます。伊勢神宮の式年遷宮に代表される、総てを新しくくりかえする事で、新たな命に生まれ変わるといふ思想です。これは神道の思想の一つであります「常若」という考え方です。伊勢神宮の式年遷宮に代表される、総てを新しくくりかえする事で、新たな命に生まれ変わるといふ思想です。我々人間も同様で、知らず識らずに犯した罪、穢れを、神様に祓い清めて頂く事で、新たな命に神の息吹を吹き込んで頂き、新年を清々しく迎えるというのが、大祓式の本意でございます。伊勢神宮の式年遷宮に代表される、総てを新しくくりかえする事で、新たな命に生まれ変わるといふ思想です。